

特別企画:ミニ鍼灸万博

ソフト指圧について

金子 武良¹⁾

Key Words : ソフト指圧; Soft Shiatsu

1) 金子指圧治療院

1, はじめに

ソフト指圧では、0歳児から100歳を超える方を指圧する。病弱な方からプロのアスリートの方まで来院する。

2, ソフト指圧をするうえで重要な事

患者さんに負担を掛けず、患者さんがリラックスした状態でソフト指圧の治療を受けて頂く事が重要である。それには、指圧師自身の身体に力が入らない状態で指圧する必要がある。

3, 直接治療と遠隔治療

ソフト指圧には直接治療と遠隔治療がある。

直接治療は、症状のある箇所に指圧による圧刺激を与える治療である。

遠隔治療は、直接治療による指圧の圧刺激から発生する患者さんの身体内部の振動(波動)を利用して全身に振動(波動)により治療をする。

私自身には指圧の師匠が2人いる。遠隔治療の方法は、2人の師匠から教えて戴いた古くからある指圧の哲学、指圧の理論、指圧の実技を土台に、50年近くの歳月を掛けて作り上げたオリジナルの施術方法である。

4, どのような治療なのか?

筋肉の弾力性があるのを良い状態であると考えている。筋肉の状態が硬くなったり、筋肉が硬く収縮したり、筋肉が弱々しく弾力性を失ったりした状態等に対して、ソフトな刺激による指圧が有効であると考えている。

筋肉が硬く収縮している場合は、硬くなってしまった筋肉を溶かすイメージでソフト指圧する。

これにより患者さんの骨格のアンバランスが整う患者さんが多くいる。身体の浮腫みも取れ易いのである。

筋肉が弱々しく弾力性を失ったりした患者さんには、筋肉の弾力性を戻す施術

を考える。

その他として、身体の熱感や冷えに対しても施術を行う。

5, 指圧治療院の動向は

来院する患者さんも変化して来ている。45年位前は、肢体不自由(脳性麻痺等)の子どもの患者さんが多かったが、今は発達障害や斜視の子どもの紹介される。45年位前の大人の患者さんは、関節リウマチで来院される方が1割以上いたが、今は肩こり、腰痛、神経痛の他に耳の聞こえが悪い突発性難聴の患者さんの紹介が増えている。

6, まとめ

ソフト指圧では、患者さん方にリラックスした状態で指圧を受けて頂き、血行を良くすることで治療効果を高めることを大切にしている。

予防鍼灸研究会の一会員として、西洋医学と東洋医学の架け橋が段々と進むと良いと考える。